

# 峰友通信

発行責任者／本部役員一同  
川西市萩原台西2丁目324  
電話〇七二(七五七)八八二六

第10号  
2006年10月発行

深まる秋に、第6回の峰友会総会・懇親会を開催いたします  
この機会に母校へ来て、高校生時代を思い出してみませんか

11月下旬ですので、母校中庭にある木々が紅葉しています。  
少し早めに来校されて校内をゆっくりと散策してみませんか？

## 第6回総会・懇親会のご案内

- ◆日時 平成18年11月26日(日曜日)  
午後2時～2時半/総会  
午後2時半～4時半/懇親会[軽食パーティ]
- ◆場所 川西明峰高校の食堂(午後1時半から受付)
- ◆会費 2000円(幼児は無料、小・中学生は500円)
- ◆申込 同封の振込用紙にて振込を(11月10日締切り)  
※なお、締切日以降のキャンセルは返金できません。また、振込後の欠席変更は、母校同窓会担当の渡辺先生か高良先生まで連絡してください。

### 「通学路の風景」

峰友会長  
丸野 俊一



長かった梅雨、きびしい残暑、夏の高  
校野球は37年ぶりの決勝再試合。今は  
静かな秋を迎え、会員の皆様にはお元  
気で各方面にて活躍のことと存じます。  
昨年、母校は創立30周年を迎え諸行事  
も無事に終わりました。今春、卒業生も  
ついに一万人を超え、ますます地域に親  
しまれる高校になってきております。  
この30年で学校の様子も変わりました  
が、能勢口駅付近の様子や通学路の風景  
も大きく変わりました。11月の総会・懇  
親会にお越しになり、変貌の状況を確か  
めてみてください。久しぶりに来られる  
方には、きっと大きな驚きと感動がある  
ことと思います。出席の方・記念誌のみ  
ご希望の方、同封の振込用紙で費用をお  
納めください。役員一同、楽しい懇親会  
になるよう努めますので奮ってご参加  
ください。たくさんの参加を期待してい  
ます。皆様のますますのご健康とご多幸を  
川西の地からお祈りしております。

### 「花壇の寄付に感謝」

学校長 川上 清



昨年の創立30周年記念事業の一つとし  
て校門付近の花壇を寄付していただきま  
した。昨年の秋には紅と白のそばの花を  
その後は菜の花を、そして、5月下旬に  
はマリーゴールド、サルビアなどの移植  
を行ないました。花壇と反対側にあり従  
来サツキの植えてあったところにも季節  
の花、例えばチューリップなどを植えま  
した。その結果、校門からピロティに  
至る通路の両側には美しい花々が咲き誇  
り、生徒たちの心を癒してくれています。  
卒業生の皆様はよくご存じのように、  
本校では従来プランターを使っていたの  
が、これを拡張した形になりました。今回は  
直線型から平面型へのグリインアップと  
言えるでしょう。中庭にも花壇を設けて  
いるのですが、ここでは管理を任せられ  
1年生のあるクラスが花の色を考慮した  
模様のように花を植え、教室から見えた  
花が一際美しく見えるようになりました。  
美しくなった母校を是非訪ねてくださ  
い。

### 「会員の皆様へ」

お手数ですが、住所変更されましたら  
母校までご連絡ください。毎年、二百名  
近い方に峰友通信が届かず残念です。



## 平成18年度峰友会運営方針

### (1) 活動の基本

- ① データ管理：株式会社アーツに委託
- ② 広報活動：会報「峰友通信」発行  
毎年卒業生に「入会のしおり」を発行  
出席案内のある学校行事（入学式、文化祭、体育祭、入会式、卒業式）には本部役員が出席する
- ③ 総会開催：今年度は開催年につき、企画運営にあたる

### (2) 各会の活動

- ① 本部役員会：母校の会議室で随時開催  
基本的には火曜か金曜の夜6時から
- ② 理事会・幹事会：今年度の開催は未定

### (3) 経費の支出

- ① 会報発行：印刷・封入等は外注する
- ② 総会費：今年度は計上する
- ③ 母校支援：母校助成金20万円を計上
- ④ 記念品代：卒業生に贈る「卒業証書入れホルダー」は恒例として継続する
- ⑤ 活動費：例年どおり同窓会関連業務にたずさわった場合、報償を支出
- ⑥ 助成制度：同窓会開催助成制度を継続

## 【同窓会開催助成金規約（要旨）】

- ◆ 目的：会員による学年またはクラスでの同窓会開催を支援
- ◆ 助成金：同窓会開催通知の郵送料80円と返信葉書50円×人数分の費用助成
- ◆ 申込み：同窓会開催後30日以内に申請書を記入し郵便局領収書を添えて会長に提出、内容を審査後、口座に振込（問合せは、渡辺先生か高良先生まで）

## 峰友会活動記録

### 《平成17年度》

H17年10月11日	■ 第87回	前号のつづき
H17年11月8日	■ 第88回	本部役員会
H17年11月29日	■ 第89回	本部役員会
H18年1月31日	■ 第90回	本部役員会
H18年2月27日	■ 第28回	峰友会入会式
H18年2月28日	■ 第28回	卒業証書授与式
H18年3月7日	■ 第91回	本部役員会
《平成18年度》		
H18年4月10日	■ 第31回	高校入学式
H18年4月25日	■ 第92回	本部役員会
H18年5月30日	■ 第93回	本部役員会
H18年9月5日	■ 第94回	本部役員会

## 総会・懇親会インフォメーション

総会はセレモニーとして、会長挨拶、来賓挨拶等を行ない、報告の部では今期2年間の活動と収支決算を、議題の部では、活動方針、予算などを説明し採決をとります。時間は約30分で終了の予定。懇親会は、来賓紹介、特別会員（恩師）の紹介、乾杯、会食、クイズ、豪華商品の当たるビンゴゲームなどを予定しています。会費は一人二千円ですが、絶対にモトは取れますので、会員の皆様、恩師の先生方、ふるってご参加ください。最近、峰友通信が届かないという会員の方がおられましたら、母校まで連絡するようお願いください。



## 創立30周年記念誌の販売

母校創立30周年を記念して、編集委員会による「記念誌」が昨年完成し、販売いたしました。在庫が若干あります。峰友会員の中で購入希望の方がおられましたら、1冊二千円（送料込み）で販売いたします。同封の振込用紙でご入金ください。ご入金によって正式に申込受付とさせていただきます。12月上旬までに郵送いたします。振込締切は11月10日です。

## 記念事業積立費（特別会計）報告

(1)	近畿大阪銀行川西萩原出張所 平成18年7月31日現在の預金額 定期預金・八六九万六〇三〇円
(2)	川西花屋敷郵便局 平成18年8月14日現在の預金額 定期預金・四〇〇万九一二〇円
(3)	池田銀行川西支店 平成18年7月12日現在の預金額 定期預金・六五五万四七七〇円
合計	一九二五万九九二〇円

昨年度、特別会計（郵便局預金）から二百万円を母校30周年記念事業費として払い出し、支出しました。

### 30周年記念事業祝賀会等収支決算報告書

#### 1 収入の部 (単位:円)

項目	金額	備 考
祝賀会会費	1,040,650	振込手数料除く
記念誌代	108,130	振込手数料除く
ご厚志	10,000	
合 計	1,158,780	

#### 2 支出の部 (単位:円)

項目	金額	備 考
祝賀会パーティー費(ホテル支払い分)	1,015,875	
贈品代等	114,691	
報償費	60,000	同会者謝礼
印刷費	2,640	資料コピー等
通信費	16,900	記念誌郵送料等
その他	53,170	写真現像代、文具費等
合 計	1,263,276	

(収入) 1,158,780 円 - (支出) 1,263,276 円 = △ 104,496 円の不足分は  
峰友会会計(30周年記念事業費)から支出いたします。

平成17年11月29日  
会計 森田 康 福



### 平成18年度 峰友会 会計予算(案)

#### 1 収入の部 (単位:円)

科 目	当初予算額		(A-B)×C	備 考
	18年度(A)	17年度(B)		
繰 越 金	2,435,547	3,023,386	△ 587,839	
会 費	1,300,000	1,300,000	0	@5,000円×260名
*****	0	1,000,000		
雑 収 入	20	192	△ 172	預金利息等
計	3,735,567	5,323,578	△ 1,588,011	

#### 2 支出の部 (単位:円)

科 目	当初予算額		1A-B)×C	備 考
	18年度(A)	17年度(B)		
会 報 発 行 費	900,000	900,000	0	
総 会 費	200,000	0	200,000	総会用
会 議 費	150,000	150,000	0	役員会及び諸会議費
助 成 費	300,000	300,000	0	母校会等補助費、母校助成金(C9010090)
委 託 費	300,000	300,000	0	
積 立 費	0	0	0	
報 償 費	250,000	250,000	0	卒業記念品等
旅 費	20,000	20,000	0	旅費
事 務 費	30,000	30,000	0	事務用品等
印 刷 費	20,000	20,000	0	入会のしおり、コピー代等
役 務 費	80,000	80,000	0	郵送料等
*****	0	1,600,000	△ 1,600,000	
予 備 費	1,485,567	1,673,578	△ 188,011	
計	3,735,567	5,323,578	△ 1,588,011	

### 平成17年度 峰友会会計決算報告書

#### 1 収入の部 (単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	(B-A)×C	備 考
繰 越 金	3,023,386	3,023,386	0	
会 費	1,300,000	1,320,000	20,000	@5,000円×264名
*****	1,000,000	1,158,780	158,780	
雑 収 入	192	219,090	218,898	30周年記念事業費剰余金等
計	5,323,578	5,721,256	397,678	

#### 2 支出の部 (単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	(A-B)×C	備 考
会 報 発 行 費	900,000	769,964	130,036	
総 会 費	0	0	0	
会 議 費	150,000	128,827	21,173	役員会及び諸会議費
助 成 費	300,000	240,160	59,840	母校助成金
委 託 費	300,000	105,472	194,528	
積 立 費	0	0	0	
報 償 費	250,000	126,720	123,280	卒業記念品等
旅 費	20,000	15,300	4,700	旅費
事 務 費	30,000	17,940	12,060	事務用品等
印 刷 費	20,000	12,500	7,500	入会のしおり、コピー代等
役 務 費	80,000	3,150	76,850	郵送料等
30周年記念事業費	1,600,000	1,865,676	△ 265,676	30周年記念事業費(1,263,276円) 初年度入会費(594,000円) 振込手数料(2,000円)
予 備 費	1,673,578	0	1,673,578	
計	5,323,578	3,285,709	2,037,869	

収入合計 5,721,256 円

支出合計 3,285,709 円

差し引き 2,435,547 円

差し引き残額 2,435,547 円は、平成18年度に繰り越いたします。

平成18年3月31日  
峰友会 会計 森田 康 福



### 会 計 監 査 報 告

兵庫県立川西西峰高校同窓会峰友会会則により実施いたしました、平成17年度  
峰友会会計監査の結果は次のとおりです。

記

1. 監査実施日 平成18年6月28日(水)

2. 監査の対象 平成17年度峰友会会計

収入前額 5,721,256 円

支出前額 3,285,709 円

差し引残額 2,435,547 円

上記会計担当から提出された諸帳簿、預金通帳等を照合の結果、経理は適正に  
処理されていたことを認めます。

平成18年6月28日

峰友会 会計監査 小森田 理 佳

# 創立30周年記念事業報告

## 記念式典



平成17年11月19日に川西市文化会館大ホールにて、たくさんの方々の来賓の方々や在校生達の中で、創立30周年記念式典が盛大に行われました。高校時代に応援団の団長をされていた、峰友会の丸野会長によるエールも披露されました。



## 記念講演



記念講演では、ヤクルトスワローズの選手兼監督で、ご活躍中の古田敦也氏（6回生）に「今、思うこと」の題で、明峰高校に在学中だった頃のお話をしていただきました。古田氏が登壇するやいなや、ものすごい歓声で、会場は興奮の渦に巻き込まれました。

## 記念文化行事

記念文化行事として、全国で活躍中の和太鼓「松村組」の公演が行われました。民族楽器も取り入れた、力強い和太鼓の迫りに終始圧倒されました。

## 記念祝賀パーティー



当日午後6時から、宝塚ホテルにて記念パーティーが行われました。総勢147名の参加があり、テレビでご活躍中の鶴井泰人さん（4回生）の司会による、ビンゴゲームで盛り上がりました。



宝塚ホテルペアーディナーチケットやニンテンドーDSが当たった方もいらっしゃいました。次回に幸運をゲットするのはあなたかもしれません。

## 今年四月に転勤された先生方からのメッセージ

12年間という長い間お世話になりました。私にとっては二校目で、教師としての本当の経験を積むことができ感謝しています。自分一人の力ではどうすることもできないことも、周囲の人に支えられて助けられて何とか乗り越えることができました。本当にありがとうございました。長い勤務の間に出会えた先生方、卒業していった生徒たちに心からのお礼とエールをお送りしたいと思います。



林 範子

9年間、明峰高校でお世話になりました。今年の4月から武庫荘総合高校に勤務しています。木家教頭、村上弘一先生、川村先生の3人の明峰高校で一緒だった先生方と勤務しています。今後も明峰高校での出会いや経験を財産に頑張っていきたいと思います。明峰高校の益々の発展を心からお祈りします。

谷口 俊次

6年間お世話になり、数々の思い出ができました。特に合唱コンクールのアンコールで生徒達から3回も舞台に呼んでもらえたことは、一生忘れられない思い出です。明峰高校は私にとって、第二の母校と言えるほど大切な存在です。益々の御発展をお祈り致します。



中西 亮子



創立30周年の節目の時に明峰に在籍し、素晴らしい生徒、教職員の方々との出会い、楽しい日々を過ごせました。私はこの4月から洲本高校で頑張っています。いつかまた明峰の教壇に立ちたいと思っています。今後の明峰、峰友会の益々のご発展を祈願しております。

稲葉 治

明峰高校で一年間お世話になりました。

緑豊かな学舎で四季の移り変わりを感じながら、日々生徒の皆さんと共に学ぶことができ、有り難く思っております。図書館で8時間黙々と受験勉強に取り組んだ姿や、真っ黒に日焼けしながら部活動に取り組む、明峰高校生の姿に、勇気づけられたことでしょう。

明峰高校で学んだことを胸に、市立尼崎高校で頑張っております。ありがとうございました。

竹 裕美

6年間、お世話になりました。

明峰高校では、たくさんの先生方に支えられながらも楽しく勤めることができ、ありがとうございました。これからも明るい明峰高校のご発展をお祈りします。

豊島 祥福

川西明峰高校事務室で1年間お世話になりました。

元気に挨拶してくれる子、なかには受験の結果を報告に来てくれる子もいて、気持ちよく、楽しく一年を過ごすことができました。ありがとうございました。



二ツ石 見季代

【高校で出会った仲間】

23期生3年2組 森田 祐介 さん



私が兵庫県立川西明峰高等学校を卒業して6年が経ちました。その間になんとか大学を卒業し、現在は川西市内で教壇に立っています。私自身、中学校まで大阪で育ち、高校から川西に来たので、とても愛着のある土地です。今ではここに來られて、明峰高校で3年間過ごせたことを誇りに思っています。

また、大学生の時にも教育実習でお世話になり、まさか戻ってくるとは思っていなかったのですが、明峰高校に戻ってきた時は何ともいえない感動を覚えました。

高校の同級生とは今でも会う度に「年とったなあ。」という会話になりつつも、懐かしい話の花を咲かせたりして、その時の友達の色を見ると、やはり楽しそうに笑っています。

これからも明峰高校で出会えた仲間を大切に、楽しく年をとっていかれたらと思います。

最後になりましたが、川西明峰高校、峰友会のますますのご発展をお祈りいたします。

ありがとうございました。

【現在未来】

23期生3年7組 天津 建二 さん



社会人になって早4年、そろそろ仕事にも慣れてきました。ですが同時に「馴れ」てしまい、自分に対して甘くなってしまいうことも、少々あります。そんな時こそ初心を忘れるなかれ。自分に厳しくなれる時こそ成長できるのではないのでしょうか。

時々通る明峰高校の通学路、思い出だけで疲れるような長い長い坂道。よく3年間も通えたなど、自慢にも思えます。

学生時代、毎日の勉強がとても苦でした。嫌いな教科なんかは全く頭に入らず逃げ出したくらいでした。大学進学なんかは考えることもしませんでした。ですが今となっては「もっと勉強していれば今よりももっと多くの選択肢のある人生を歩めたのではないか。」と思います。かと言って、今の自分に不満があるわけはありません。十分充実しています。

これから先、進んでゆく人生の中、少しでも満足できるよう、広い視野でじっくり考える、そうすればきっと自分に納得できるのではないのでしょうか。

【人間関係を良くするには】

24期生3年3組 西村 拓 さん



明峰高校卒業生のみなさん、元気でお過ごしでしょうか。24期生の西村といいます。

学校生活においても、職場や家庭の中でも人間関係はつきものです。私たちは人とのかぶれあいを通して、楽しんだり、成長していったりします。でも逆に、人間関係で問題を抱えたり、それが悩みの原因になることもあります。それで多く

の方が人間関係はとても大切だと考えておられることと思います。

僕もそうですが、みなさんもその点でいくらかの努力を払っておられるかと思いますが。そんなとき、僕の中でとても役立っているひとつの言葉があったので紹介したいと思います。もしかすると耳にされたことがある方もおられるかもしれませんが、それは「自分にして欲しいと思うことは、みな同じように人にもしなければなりません」という言葉です。僕は、この言葉を当てはめるように努力したときに、良い結果が得られているように感じています。みなさんはどうでしょうか。



【川西明峰高等学校の思い出】

上島 成慈 先生

【S52年度～S56年度在職/現在、県立伊丹西高校勤務】

昭和52年4月(創立2年目)に新任として着任し5年間お世話になりました。2回生の学年付を1年、3回生の担任、教務部員を1年させて頂きました。

2年生のスキー修学旅行で戸隠高原へ行ったときのことでした。我がクラスに、夕食の自由時間に部屋の押入れから天井裏に上がりそこから這い出して、階段に転落した生徒がいました。救急車で長野市内の病院に搬送し、精密検査を受けさせたりと大変心配しましたが、大事にならなくて幸いでした。またテニス部顧問の時には、コート周辺やフェンス沿いの草引きや小石拾い、ラインテープ貼り、ローラー引き等のコート作りや整備、また時には部員に混じっての練習、多田神社までのランニング等懐かしく思い出されます。

川西明峰高等学校の創成期に参加できたことを誇りに思うとともに、川西明峰高等学校とその同窓会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



【私の原点】

高橋 徹 先生

【S56年度～S63年度在職/現在、県立加古川南高校勤務】

昭和56年3月下旬のある夕方、電話がなる。「川西明峰」という耳慣れない高校からのお誘いの電話だった。生まれも育ちも神戸の私には川西という土地がどこなのかもわからない。早速地図を開いて確認。それが明峰との出会いだった。

以来常勤講師で10ヶ月、教諭で7年と2ヶ月を明峰で過ごし、国語の先生と陸上部の顧問という私の社会的立場はそれからずっと続いている。今思えば当年五十路に足を踏み入れる私の教員としての原点はこの明峰にあったと思う。赴任から三年ほどの私は職業選択を誤っていたかもしれないと自ら思うほどだった。頭に入っていない古典文法を掌に書いて授業に行く。ウソを教えてテストの後で生徒に謝ることもしばしば。そんな私が一人前面をされているのも明峰での8年間のおかげだ。当時出会った多くの先生方や生徒諸君に今心から言いたい。「ありがとうございました」



【思い出深い「スキー合宿」】

松浦 博 先生

【H5年度～H13年度在職/現在、県立川西緑台高校勤務】

川西明峰高校では、18回生の入学とともにお世話になり、18回生、19回生、21回生、24回生の学年を担当しました。9年間の在職中には、いろいろな出来事がありました。中でも18回生と24回生の「スキー合宿」はいつまでも忘れることはないでしょう。18回生のときは、あの「阪神・淡路大震災」

の前日に川西を出発し、震災のニュースはスキー合宿先で知りました。その夜、ホテルの電話に心配そうな顔をした生徒が並んで自宅に電話している様子を思い出します。

24回生のときは、大雪のために2日ばかりで現地に到着し、スキー実習がわずか1日になったにも関わらず、生徒達は文句も言わず、逆に現地に着いた後は、2日分を取り戻すようなパワーで凝縮したスキー合宿を送ってくれました。現在、明峰高校の近隣の緑台高校に勤務していますが、明峰高校の制服を着た生徒をよく見かけ、当時のことを思い出します。今なお、パワー溢れる生徒が生き生きと活動し、良き伝統が受け継がれていくことを願って止みません。

